

## 俳句 大津俳句会

濃き霧に向かひてフェリー出航す

井芹眞一郎

里神楽黄葉且つ散る能舞台

岩崎由美子

ひっそりと木陰に咲きし石路の花

大塚喜久子

木々の葉の乾く音させ冬近し

岡崎 浩子

一夜明け庭一面の柿落葉

佐賀 久子

初鴨に寄れば滑りて遠ざかる

佐澤 俊子

## 俳句 つのはな句会

白川の水が育てし大稲田

梅木トキエ

落ち葉踏み友と歩いた阿蘇の山路

塚本 洋子

新屋の秋日が陰る胡蝶蘭

榮田しのぶ

鉄条網の囲むソーラー罫雲

村田 健二

昭和背負ひしSL見送る阿蘇の秋

志賀 孝子

肉ジャガとぬるい温泉が好き 里の秋

田上 公代

終わり無きコロナワクチン冬紅葉

木庭 杏子

方舟の行く先消えて冬北斗

上杉 波

思い出がこんがらがって来る夜長

矢嶋 道子

## 短歌 大津短歌会

古き人の知恵の証を見る程に通潤橋は今  
日国宝に

菅野 静

車やめ不自由かこつ身になりて優しさま  
せりコスモスの花

小平 善行

鋭く弱く親鳥ひねもす鳴きており猫に食  
われし子を返せとか

坂本 杲子

湯の宿の卒寿の宴は静かなり姪と二人の  
乾杯の宴

豊岡ミツル

秋風のさやさや吹けば深山の里の紅葉は  
錦と化する

吉永 恵子

水もとめ児童らと尋ぬる山あいの縦井戸・  
横井戸いにしえ偲ぶ

鞍 岳志